

議事録

2026.3.10 記 高田

神奈川県剣道連盟 第12回幹部会議

日 時：令和8年3月5日（木） 12：50～15：30

場 所：神奈川県立武道館

出 席：野見山会長、佐藤副会長、吉村副会長、小山副会長、松原副会長、飛知和副会長、高野副会長、
伊藤専務理事

事務局：中島事務局長、高田副事務局長

欠 席：上野副会長

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 題

【協議事項】

(1) (株)相鉄ビルマネジメントとの契約変更について

事務所賃貸契約が旧団体名のままであるため、新団体名とする。この賃料支払いにつき預託金以外に個人保証人を立てることが義務付けられている。一般社団法人が借用するにあたり、個人が保証人となることは問題であり、その解消に向け討議。現在のすでに預託している金額の増額を増額することにより解消できるので、その方向で進める。次回理事会に報告し、了解を得る。

なお、追加預託額については新年度予算に計上することとした。

(2) 相鉄企業(株)との契約変更について

現在、連盟事務所における清掃及び設備点検等の業務については、相鉄企業株式会社と委託契約を締結しており、契約は自動更新となっている。現契約では契約主体が旧団体名となっているため、組織変更に伴い、現団体名に変更する。

また相鉄企業株式会社から委託料金の改定について申し入れがあり、最低賃金の上昇及び資機材・原材料費の高騰を理由として、年額 15,881 円の増額の提案があった。今回の値上げ額は約 11%程度であり、妥当な範囲ではないかと考えられることから了承することとした。

令和8年4月1日付で契約変更を行う。

(3) 職員雇用について

前組織時代においては、職員雇用につき就業規則、賃金規程及び育児・介護休業規程、健康診断などにつき明確な規定がなかった。社労士に相談のうえ、規定を作成、今後はこの規則に基づき、雇用契約を締結していくこととした。

(4) 八段受審者研修会と六・七段受審者講習会について

1. 説明

八段受審者研修会については、年度や開催時期により参加人数のばらつきがあり、近年は参加者数

が減少する回も見られるが、9月が多く、3月、7月が少ない傾向にある。今後年齢制限緩和の影響により受審者が増加する可能性がある。模擬審査において、同じ人とあたる事例が増えてきていることから他県にも呼びかけて開催することを企画していく。交通の便を考えると県立武道館が適切であり、3月の研修会を予定として今後具体的に検討していく。

六・七段受審者講習会については、参加者が少なく、令和7年度2月講習会では36名程度であり、事業の在り方について検討の必要がある。現行日程を基本とするが、参加人数の状況を踏まえ、

- * 実施方法の見直し
- * 他段位向け講習との組み合わせ等について引き続き検討する。

(5) 初段受審年齢資格の変更について

現在、初段の受審資格は「剣道一級を有し、満13歳以上であること」とされているが、この規定により同一学年であっても誕生日の違いにより受審可能時期に差が生じている。さらに、小学校から長年剣道に取り組んできた生徒が、中学校入学後に初心者として剣道を始めた生徒よりも初段取得が遅れる場合があり、指導現場から疑問の声が上がっている。

現行制度が取り入れられたのは、世界的に学年制度がことなるため、世界標準とすることから13歳という年齢が取り入れられたという事情があり、全剣連としては対応がむづかしいことも予想される。

神奈川県としては、支部長の意見もたずね、方針を検討する。

(6) 海老名市総合体育館使用について

海老名市総合体育館を（9月22日）前記八段受審者研修会広域開催時使用をふくめ多目的に検討するため予約していただいている。

今回は中体連と連携した中学生等の交流事業、女性対象講習会等の可能性について関係団体と協議し、活用方法を検討する。

(7) 剣道形講習会について

三段以下を対象とした剣道形講習会への参加者が少なく、また昇段審査においても剣道形の習熟度が十分とは言えない状況が見受けられる。そのため令和8年度は、指導者層の育成を目的として講習会実施し、剣道形を指導できる人材の養成を重点的に行う方針とする。

講習会は男女対象を2回、女子のみを1回の計3回実施、各支部に対し、三段以下の剣道形指導について充実した指導体制の整備を依頼する。

(8) 中学生育成講習会について

中学生の育成においては、勝利至上主義に偏らず、剣道の楽しさや良さを広めることを目的として交流型の講習会を実施したいとの考えが示された。

昨年度は川崎地区の中学生および高校生を対象とした交流会を、県立武道館を会場として実施した。今年度は他地区を対象として計画する。実施日は令和8年2月21日とする。

(9) 大会・講習会等の参加費の見直しについて

大会・講習会・稽古会等の参加費の現状では、個人参加の大会や講習会の参加費は多くが1,000円に設定されており、この金額は10年以上据え置きとなっている。団体参加の大会については、

- ・青少年剣道錬成会：1チーム2,000円
- ・青少年剣道選手権大会：1支部3,000円
- ・神奈川県剣道大会：1支部1チーム3,000円

となっており、団体参加費については比較的低額であるとの認識が示された。

これらは研修事業として県連が一定の負担をして実施しているものであるが、物価上昇等の状況も踏まえ、参加費の水準が適正であるか検討する必要がある。

今年度は団体参加の大会については、現行の参加費が低額であることから、値上げを検討する方向で進め、母子剣道大会については、1組1,000円の参加費とする。この2項目以外は令和8年度の値上げは行わず、状況を説明の上、令和9年度からは値上げはやむを得ないと考えている旨を理事・代議員会（総会）において説明する。

【報告・確認事項】

(1) 神奈川問題について

現在の状況報告があった。

(2) 剣道形再受審者欠席の件について

- ・審査料、再受審料については申し込み締め切り後は返金を行わない。

三段以下については各審査担当支部の事情もあり、その判断に任せるが明文化することを求める

- ・再受審については、全日本剣道連盟（全剣連）の基準に準じる。

当初の不合格（令和7年秋）の翌月から1年以内であれば、再度「形、筆記などの項目のみ」の受審を認める。ただし、受審料は再度支払う必要がある。欠席は「受審」とみなさない。

(3) 一般社団法人神奈川県剣道連盟 段位規則改定について

前項に基づき必要な改定を行う。

(4) 神奈川武道会幹事会結果報告について

神奈川武道会幹事会が令和8年2月20日（金）14:00～15:30、神奈川県庁新庁舎にて開催された。

- ・概要: 「武道祭 2025」の実施報告および収支決算、今年度の事業計画等について協議された。

(5) 令和8年度剣道地区伝達講習会 本部役員・講師等分担表について検討し決定

(6) 前期段審査責任者確認について検討し決定

(7) 指定審査員審判員研修会について

1. 令和7年度 実施結果の振り返り

- ・実施概要: 田島先生らの協力を得て研修内容を大幅に刷新し、グループディスカッションを導入し

た。

- ・成果: 審判員同士で意見交換を行う形式が好評であり、有意義な研修となった。
- ・課題:
 - ・参加人数が多いこともあり、より活発な意見共有を促す工夫が必要である。
 - ・大会後の反省会において、審判中に判断に迷った点や気づいた点（「ハッとしたこと」）を、沈黙せず積極的に議論する文化を醸成したい。
 - ・審判技術の向上は選手の不利益を避けること（「選手に対してかわいそう」な判定をなくすこと）に直結するため、事例検討による気づきを重視する。

2. 令和8年度 実施方針

- ・継続: 令和7年度の形式（ディスカッション重視）が有効であったため、令和8年度も同様の体制で実施することを計画する。

(8) 称号受審者講習会について

1. 令和7年度 実施結果の振り返り

- ・内容の刷新: 本年度より「日本剣道形」の徹底指導に重点を置く形式に変更した。
- ・実施の成果:
 - ・講習終了後の合同稽古には、審査員や副会長も多数参加し、非常に有意義な場となった。
 - ・受講者が講師（松原先生、佐藤先生ら）からマンツーマンに近い形で指導を受ける場面もあり、質の高い講習が行われた。
 - ・称号受審クラスの指導層であっても、改めて形を確認・習得する機会として有効であったとの評価を得た。

2. 令和8年度 実施方針

- ・継続実施: 「指導的立場にある者が、正確な剣道形を身につける」という方針に基づき、来年度も本年度と同様の形式（形の重点指導および合同稽古）で実施することを決定した。

(9) 令和8年度大会係員依頼予定表について

1. 大会係員・受付・警備員の依頼方法の変更

年間を通じ、横浜市内支部から計70名、市外支部から計69名となるよう調整し、全県下でほぼ均一な負担となるよう配分できた。

2. 大会運営の効率化と学生役員の活用

- ・審判・進行: 国スポ予選会等の個人戦や、進行が多忙な大会については、昼休み休憩を取らずに運営できるよう、1会場あたり5名の係員を配置する。
- ・学生役員の依頼: 以下の4大学に対し、引き続き係員派遣の協力を依頼する方針を確認した。
 - ・東海大学、神奈川大学、関東学院大学、桐蔭横浜大学。

3. 大会における支部長招待の運用（神奈川県剣道祭）

- ・実施報告: 令和7年度の「神奈川県剣道祭」において全支部長を招待した際、弁当代のみの負担（交通費なし）としたが、各支部長より好評を得た。
- ・招待対象大会の限定: 会場スペースや運営の混雑状況を考慮し、支部長招待を実施する大会は、年度末の顔合わせの意味合いも兼ね、「神奈川県剣道祭」の年1回のみとすることを決定した。

【大会・講習会等予定】

(1) 剣道三段以下剣道形講習会の開催について

- ・令和8年3月14日(土)神奈川県立武道館で開催
- ・四会場で実施する。

(2) 第44回剣道八段受審者研修会の開催について

- ・令和8年3月21日(土)神奈川県立武道館で開催

(3) 第66回東京剣道祭について

- ・令和8年4月5日(日)東京武道館で開催

(4) 令和8年度 剣道地区伝達講習会打合せ会議について

- ・令和8年4月9日(木) 18時より かながわ県民センター 1501会議室で開催

(5) 第24回全日本選抜剣道八段優勝大会について

- ・令和8年4月19日(日)名古屋市中村スポーツセンターで開催

(6) 第122回全日本剣道演武大会について

- ・令和8年5月2日(土)～5月5日(祝)京都市武道センター旧武徳殿で開催

(7) 第18回神奈川県女子剣道大会について 資料11

- ・令和8年5月9日(土)午前 神奈川県立武道館で開催
- ・1部は18歳以上30歳未満(大学生は可、高校生は不可)とする。

(8) 第18回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会について 資料12

- ・令和8年5月9日(土)午後 神奈川県立武道館で開催

(9) 第80回国民スポーツ大会剣道競技県予選会について 資料13

- ・令和8年5月23日(土)神奈川県立武道館で開催

(10) 剣道四・五段審査会について

- ・令和8年5月24日(日)神奈川県立武道館で開催

【審査会結果】

①剣道審査会合格者

- ・令和8年2月14日(土)小瀬スポーツ公園 武道館 剣道七段18名合格
- ・令和8年2月15日(日)小瀬スポーツ公園 武道館 剣道六段35名合格

【大会結果】

①第24回 神奈川県剣道祭

4.その他

(1) 剣道祭における表彰式・閉会式の運用改善について

1. 優秀選手賞の表彰タイミングと閉会式について

・現状の課題:

- ・ 前回の剣道祭では、七段の部の表彰を大会の最後に回した結果、多くの受審者・参加者が帰宅してしまい、閉会式時の整列人数が極端に少ない状態となった。

・次年度（令和8年度）の改善案:

- ・ 表彰の分割実施: 七段の部の試合終了後、八段の部が始まる前のタイミングで速やかに七段の表彰を行う。
- ・ 選考の迅速化: 試合進行と並行して優秀選手の候補を絞り込み、放送で呼びかけることで、八段戦開始前に表彰を完了させる。
- ・ 全員整列の徹底: 八段の部は審判員が選手を兼ねているため、八段戦終了後は全員が整列し、審判長が多くの参加者を前に気持ちよく講評を行える環境を整える。
- ・ 表彰対象者の不在時: 表彰時に帰宅していた者は「表彰なし」とする。ただし、氏名は公式ホームページに掲載し記録として残す。

2. 参加者の意識向上と他連盟の動向

- ・ 学連（大学剣道）等では閉会式への出席が必須化されており、最後まで全員が残る文化が定着しつつある。
- ・ 当連盟においても、称号・高段位者が範を示す意味で、閉会式・講評まで参加するよう意識付けを行っていく。

3. その他

- ・ 高齢出場者（85歳）の表彰については、引き続き好評であるため継続する。
- ・ 各段ごとに集合写真を撮影し、公開する仕組みを検討する。

※次回の幹部会議は、令和8年4月2日（木）13時～ 神奈川県立武道館

5. 閉会